



平成28年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年4月27日

上場取引所 東

上場会社名 日本精蠟株式会社

コード番号 5010 URL <http://www.seiro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 寛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 専務執行役員 総務部長 (氏名) 細田 八朗

TEL 03-3538-3061

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第1四半期の連結業績(平成28年1月1日～平成28年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第1四半期	5,876	△32.2	71	—	△27	—	△61	—
27年12月期第1四半期	8,665	—	△559	—	△582	—	△381	—

(注) 包括利益 28年12月期第1四半期 10百万円 (—%) 27年12月期第1四半期 △70百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第1四半期	△3.43	—
27年12月期第1四半期	△21.30	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第1四半期	29,981	10,218	34.1
27年12月期	31,070	10,274	33.1

(参考) 自己資本 28年12月期第1四半期 10,218百万円 27年12月期 10,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年12月期の連結業績予想(平成28年1月1日～平成28年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,600	△26.3	330	—	220	—	100	—	5.58
通期	23,500	△19.7	940	—	700	—	350	—	19.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年12月期1Q	22,400,000 株	27年12月期	22,400,000 株
② 期末自己株式数	28年12月期1Q	4,483,664 株	27年12月期	4,482,141 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年12月期1Q	17,917,228 株	27年12月期1Q	17,918,259 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	2
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
第1四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成28年1月1日～平成28年3月31日)のわが国経済は、政府の各種政策と日銀の金融緩和政策を背景に企業業績や雇用環境が改善し、景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、世界経済の減速懸念が高まり、また資源価格が下落するなど国内外ともに景気の先行きに不透明感が強まりました。一方、当社業績に大きく影響する原油相場は需給の緩み等を背景に下落基調を強め、2月中旬には米国WTI原油が26ドル/バレル台、東南アジア産原油は22ドル/バレル台をつけるに至りましたが、以降は徐々に上昇し3月末には米国WTI原油が38ドル/バレル台、東南アジア産原油は33ドル/バレル台を回復しました。また、外国為替相場は年初の120円/ドルから3月末にかけて112円/ドル前後に円高が進行しました。

このような状況の中で、ワックス販売は国内販売が高機能製品を中心に堅調を継続しましたが輸出版売では安価な中国品との競争激化等が響き、販売数量では前年同期に比較して837トン減の17,306トン、販売高で593百万円減の4,361百万円の実績、重油販売は火力発電用需要が漸減する中、重油製造量のミニマイズ化を進めた結果、販売数量では24,618キロリットル減の51,720キロリットル、販売高では重油価格が原油価格に連動して大幅に下落したため2,209百万円減の1,471百万円の実績となり、売上高はその他商品を含めて2,788百万円減の5,876百万円となりました。一方、損益面においては前期後半からの原油価格下落に伴う高値在庫や棚卸資産評価損等の減益要因はあるものの、前期から進めてきました新原料下の安定操業とワックスの効率生産、採算販売、固定費の削減等に鋭意取り組み、当社単体では前期の第4四半期会計期間に引続き営業利益、経常利益および純利益で黒字を計上しました。また、当期より連結決算の対象となりましたテクノワックス㈱は高機能製品の受託が順調に推移し黒字を計上しております。平成27年8月に竣工し現在、本格稼働に向けて鋭意取り組んでおりますNippon Seiro (Thailand) Co., Ltd.を含めた当第1四半期連結累計期間では営業利益は71百万円の黒字を計上しましたが、Nippon Seiro (Thailand) Co., Ltd.の創業費用等により経常利益は△27百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は△61百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比較して1,089百万円減少の29,981百万円となりました。これは主として現金及び預金の増加額735百万円、たな卸資産の減少額832百万円、受取手形及び売掛金の減少額156百万円、流動資産のその他の減少額603百万円、投資その他の資産の減少額138百万円等によるものです。これに対して負債合計は、前連結会計年度末に比較して1,033百万円減少の19,762百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金の減少額196百万円、短期借入金の減少額290百万円、長期借入金の減少額708百万円、再評価に係る繰延税金負債の減少額138百万円等によるものです。また純資産合計は、前連結会計年度末に比較して55百万円減少の10,218百万円となりました。これは主として土地再評価差額金の増加額138百万円、利益剰余金の減少額126百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、世界経済の成長減速懸念に加え、原油相場の動向や為替相場の先行き、国内景気の動向等引続き不透明な状況が続くものと予想されます。このような環境の中で、平成28年度の経営方針および品質方針および2年目を迎えます中期経営計画NS2017の基本方針に基づき、伊藤忠商事株式会社との資本・業務提携による既存ビジネスの拡充と新規ビジネス創出の推進をはじめ、最適原料の安定確保と更なる効率生産の追求、タイ工場の早期本格稼働等を柱とする経営諸課題に引続き取り組むとともに、業績改善に全力を傾注してまいります。

平成28年2月15日に公表いたしました業績予想につきましては、現時点では変更ございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、当第1四半期連結会計期間より、テクノワックス㈱の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,447	2,182
受取手形及び売掛金	3,157	3,001
商品及び製品	4,727	4,582
原材料及び貯蔵品	4,865	4,178
その他	1,180	577
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	15,375	14,519
固定資産		
有形固定資産		
土地	9,539	9,538
その他(純額)	5,372	5,272
有形固定資産合計	14,912	14,811
無形固定資産	111	117
投資その他の資産	672	533
固定資産合計	15,695	15,462
資産合計	31,070	29,981
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,172	975
短期借入金	9,261	8,971
未払法人税等	-	17
賞与引当金	42	118
修繕引当金	87	125
その他	1,327	1,367
流動負債合計	11,892	11,575
固定負債		
長期借入金	5,583	4,875
再評価に係る繰延税金負債	2,767	2,629
退職給付に係る負債	120	132
その他	432	549
固定負債合計	8,904	8,187
負債合計	20,796	19,762
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,120	1,120
資本剰余金	25	25
利益剰余金	4,348	4,222
自己株式	△1,137	△1,138
株主資本合計	4,356	4,229
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	94	34
土地再評価差額金	5,853	5,991
為替換算調整勘定	△30	△36
その他の包括利益累計額合計	5,917	5,989
純資産合計	10,274	10,218
負債純資産合計	31,070	29,981

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
売上高	8,665	5,876
売上原価	8,642	5,237
売上総利益	22	639
販売費及び一般管理費	582	568
営業利益又は営業損失(△)	△559	71
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	30	0
受取賃貸料	64	7
その他	8	10
営業外収益合計	105	17
営業外費用		
支払利息	65	67
為替差損	14	39
固定資産賃貸費用	43	-
その他	5	8
営業外費用合計	128	116
経常損失(△)	△582	△27
特別損失		
固定資産除却損	0	-
特別損失合計	0	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△582	△27
法人税等	△201	34
四半期純損失(△)	△381	△61
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△381	△61

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)
四半期純損失(△)	△381	△61
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	△60
土地再評価差額金	286	138
為替換算調整勘定	6	△5
その他の包括利益合計	310	71
四半期包括利益	△70	10
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△70	10
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成27年1月1日 至 平成27年3月31日）

当社グループの事業セグメントは、石油精製及び石油製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日）

当社グループの事業セグメントは、石油精製及び石油製品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。